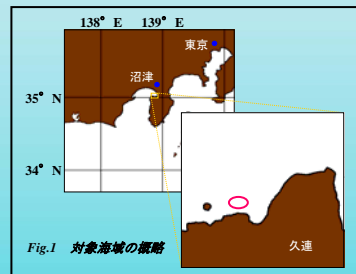


# 分布北限域におけるエダミドリイシ群落の変遷と保護 - 静岡県沼津市久連での事例 -

○中島 匠<sup>1</sup>・松永育之<sup>2</sup>・権田泰之<sup>3</sup>・横地洋之<sup>4</sup>・田中 彰<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>東海大・海洋・院・<sup>2</sup>東海アクアノーツ・<sup>3</sup>INBプランニング・<sup>4</sup>東海大・海洋研・<sup>5</sup>東海大・海洋



1991年

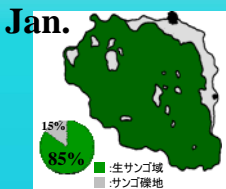
環境庁による自然環境保全基礎調査にて静岡県沼津市久連地先(北緯35° 01' 12.2", 東経138° 52' 19.9")で発見された(Fig.1).



面積は約5,000m<sup>2</sup>で伊豆半島最大規模であり、  
 優占種エダミドリイシを中心に17属29種確認されている  
 (峯岸・上野, 1995).

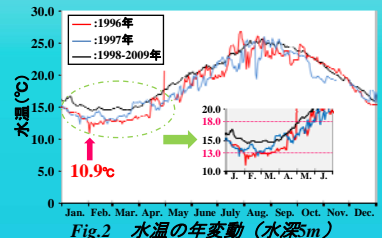
直接的な基盤は既に埋没しており、砂の上に置かれたような  
 特殊な構造を有する。

1996年



健全な骨格構造

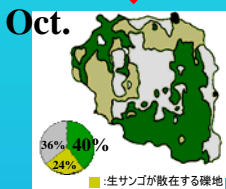
低水温発生



冬季に例年より2~3°C低い低水温が発生(Fig.2)  
 2月には10.9°Cまで低下 → 数カ月継続

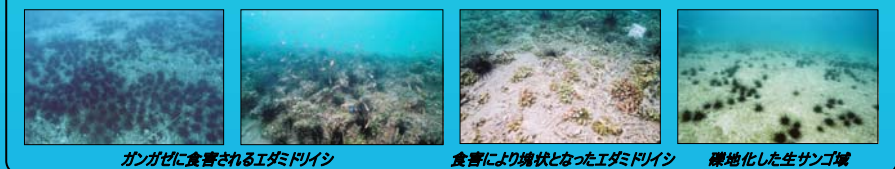
エダミドリイシ群体  
 白化・死亡

台風到来(1996年夏季)



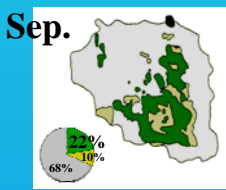
生サンゴ域  
 半減

ガンガゼ *Diadema setosum* による食害



さらに減少

2000年



自然状態では消滅の可能性

サンゴ群体への影響

形状: 枝状 → 塊状  
 成長: 上方向 → 横方向

2001年

エダミドリイシ保護対策開始



生サンゴの成長による  
 容量不足

食害防止に成功

2004年



・上方が開放的  
 ・ガンガゼ防御率  
 (約70~97%)

形状: 枝状  
 成長: 上方向

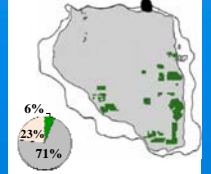
2005年



・上方が開放的  
 ・ガンガゼ防御率  
 (約75~100%)



生サンゴ域の維持  
 Nov.



被度増加

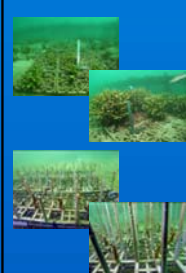
2010年

既存群体は保護フェンス内に限定

問題点

本群落の自立へ  
 サンゴ域の面積の増加  
 保護フェンスなしでの維持

修復方法



生分解性パネルを用いた  
 サンゴ移植実験(本大会, P61)

移植したサンゴ片への針状構造の  
 食害防止効果(本大会, P64)

新規加入は  
 確認されていない

保護フェンス外には  
 ガンガゼが生息

保護フェンスの  
 メンテナンス

恒久的な保護